

Seagully

シーグリー

三国病院広報紙

08
2025.09

シーグリーとは
市の鳥カモメ (seagull) と市の
花ユリ (lily) を合わせた造語。
ユリの花言葉のように純粋・
無垢に患者様と向き合います。

2025年に団塊の世代が後期高齢者になることと今後の少子化を見越し、国は「地域医療構想」を策定した。高齢者が増えても、医療費と支える側の社会保障費とのバランスをとらないといけない。そのため急性期病院の在院日数を短くし通院や在宅医療でフォローする方針で、政策が進められている。待ったなしの社会的ニーズに応えるため、当院では令和5年5月から訪問看護を、今年4月から訪問リハを開設した。今回は当院の訪問リハを紹介します。

医療的なサポートを行う訪問看護に対し、身体機能や生活動作の維持・改善のための運動を行う訪問リハ。どちらも患者宅で行われるが、内容が異なります。当院の訪問リハは、1日5名、1人40分で行っています。施術内容は患者の状態や疾患によっても異なるが、大きく3つに分けられます。拘縮予防や筋力維持等を目指すトレーニング、歩行練習や食事・入浴・トイレ動作等の日常生活訓練、そして患者支援方法の指導や福祉用具導入に関する助言を家族に対して行っています。

病院でのリハビリは専用器具・機器を使うことができますが、訪問先に大型器具を持参することはできません。では、患者宅でどんなリハビリを行っているのか。その具体と目的を担当療法士に聞きました。「自宅のベッドで寝返りや起き上がり、階段を利用した運動トレーニング等を行っています。自宅をそのまま利用できることが魅力的なところですね。自宅での運動を終えるということは、自宅における生活のレベルが上がったということ。これが最大の利点ですね」。

訪問リハは介護保険の患者が多い。訪問リハを受けるには、介護保険加入が最初のステップ。三国包括支援センター等で介護申請を行い、要介護認定を受けることとなります。三国包括支援センターの出張相談を当院で開催しているので、詳細は坂井市広報誌にてご確認願います。

開設したばかりの訪問リハはどこを目指しているのか。「地域密着型を目指しています。地域の患者を手厚くケアし、機能回復を目指したい」。そのためには何が必要なのか。ここで担当療法士の声が大きくなりました。

「地域の在宅医療充実のため、三国病院を頼ってほしい」

訪問リハで地域を支えようにも、開設したばかりで認知度が足りないのも、もっと地域に、坂井市に貢献し、患者様の生活の質向上を目指したいと考えています。だから患者様の間に三国病院の訪問リハが広まってほしいと願っています。

椅子に座ってする転倒予防体操の一部をご紹介します

○運動の目的○

足腰の筋力の衰えを予防し、よりよい生活を過ごすための体作りを行う

○運動の注意点○

1. しっかりと呼吸をしながら運動して、息をとめないようにしましょう
2. 運動の回数はあくまで目安です。自分の体調に合わせて回数を調整しましょう
3. どの筋肉を使っているか意識して、ゆっくり動かすようにしましょう

足ふみ運動（太ももの前側の筋肉を動かします）

- ①背筋を伸ばし、左右交互の足ふみを20回行う
- ②この時に、実際に歩いているようなイメージをしながら手の動きもつけるとでしょう
- ③足を下ろすのも運動です。足音がならないようゆっくりと下ろしましょう

看護の日イベントのご紹介

ナイチンゲールの誕生にちなんで、毎年5月12日は「看護の日」と制定されています。そこで、看護の心や助け合いの心を育むためと、市民の皆様の感謝の気持ちを込めて、当院も毎年、看護の日のイベントを開催しています。今年のテーマは「今日からあなたも健康長寿」です。

看護師からは脳血管年齢や骨密度、血圧測定、体脂肪測定を行い、栄養士からは栄養相談を、薬剤師からはお薬相談、リハビリの方からは体操相談をさせていただきました。10時～15時という限られた時間ではありましたが、101名という多くの方が参加されました。イベントに参加された方からは、「自分の体のことが知れてよかった」「また参加したい」「買い物ついでに気軽に寄れた」などの意見がありました。また来年も企画したいと考えています。



会場の様子

診察券・再来受付機・精算機が新しくなりました

令和7年6月30日より診察券、再来受付機・精算機が変わりました。



診察券見本

まだ新しい診察券をお持ちではない方は初診・総合案内にて発行しますので、スタッフにお声かけください



再来受付機 2台

新しい診察券のバーコード部分をカメラにかざして受付をします。

画面操作に関しては変更ございません。



自動精算機

利用時間

月・火・水・金 8:30 ~ 16:30
木・土 8:30 ~ 12:00

支払方法

現金、デビットカード、クレジットカード

※ご利用いただけるカードブランド



入職職員紹介

診療技術部

石川県の加賀市から通っています。三国病院では前の職場とは比べものにならないくらいのいろいろな検査を行っていてびっくりしています。私にとって初めての検査がたくさんあり、覚えることが多いですが、早く仕事がスムーズにできるように頑張っていきたいと思っています。 臨床検査技師 谷内 麻由美

前職は病院で入院・外来患者様に対してリハビリを行っていました。地域の患者様が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、入院中や外来通院でのリハビリを精一杯努めさせていただきます。慣れていないことも多々ありますが患者様に寄り添い、信頼感や親しみをもっていただけるよう日々の業務に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。 理学療法士 岩田 圭貴

作業療法士としては11年目になります。元々は加賀市の二次救急病院で10年間勤めてきましたが、地元が坂井市ということもあり、地元貢献したいと思い三国病院で働くことになりました。働いて日が浅いですが、三国病院は職員間の距離が近く、コミュニケーションが取りやすいと感じています。皆様と連携をしっかりと、地元貢献できるよう努めていきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。 作業療法士 善波 尚貴

看護部

昨年7月から入職しました。今までは産婦人科での勤務経験しかありません。他科をみるのは初めてでわからないことばかりですが、皆さん仕事が忙しい中でも気にかけて声をかけて下さったり、丁寧にご指導いただき本当に感謝しています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。 看護師 堀 未来

4月1日より入職し、日々多忙な中、師長さんをはじめ全職員の方々が温かく迎えてくださり、貴重な時間でご指導いただき感謝いたします。これまでの経験を活かしつつ、3階病棟で早く戦力となるよう日々精進していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 看護師 堀江 由美子

福井医療大学を卒業し、4月から看護師として勤務することになりました佐治寿隆です。人と話すことが好きなので、気軽に声をかけていただけると嬉しいです。知識や技術はまだですが、やる気は十分です！これからよろしくお願いいたします。 看護師 佐治 寿隆

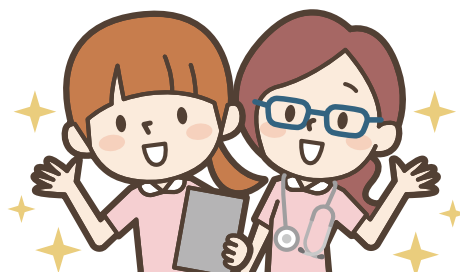
2月に入社しました西端タ三と申します。3階病棟でお仕事をさせて頂いております。病院での業務は初めてですが、1日でも早く業務を覚えて貢献できるよう努力します。ご迷惑をおかけする事もありますが、どうぞよろしくお願いいたします。 看護師 西端 タ三

中途採用で入職しました。前職では医療療養病棟で勤務し主に終末期を迎えた患者様とその御家族とたくさん関わってきました。これからも、患者様・御家族様に寄り添った看護を提供できるように頑張りたいと思います。至らないところもありますがよろしくお願いいたします。 看護師 北島 泉

前職では医療療養病棟で勤務していました。今の病棟の患者さんは会話できる方が多いので、可能な限り患者さんとコミュニケーションを図って行きたいと思います。そして、患者様と家族に寄り添った看護を提供できるようになりたいです。 看護師 田崎 真由

昨年7月に入職しました。全く未経験でしたが三国病院に採用していただき9ヶ月が過ぎました。日々、患者様の病・老・死を見つめる厳しい世界ですが、誰かがやらなければならない仕事であり、微力ながらも地域社会の貢献ができればいいなと思い看護助手の仕事を選びました。十数年ぶりに地元で働けることとなり至らないところばかりの私ですが温かく迎え入れて下さった皆様には感謝の気持ちしかありません。無き実母の看護を少しもしてあげられなかった自分が、母の故郷の病院で働かせて頂ける御縁に接し、何かのお導きかと感じつつ、もう少し頑張ろうと自分を奮い立たせる毎日です。これからもよろしくお願いいたします。 看護助手 宮永 浩明

12年前、義父の介護のため三国町に引っ越してきました。義母がいたため深く介護に携る事はなかったのですが、在宅で介護する事の大変さを感じました。その時から在宅看護に関心があり、今回訪問看護師として当院に入職しました。訪問看護師としては何かも初めてで不安もありますが、信頼される看護師に成長できるよう日々精進しますので、よろしくお願いいたします。 看護師 松本 万里子



トピックス

三国病院院内コンサート

入院患者様に喜んでもらおうと、今年も院内コンサートの開催が決定しました。昨年開催したコンサートでは、多くの患者様から感動の声をいただきました。「病院でコンサートをきけるとは思わなかった」「感動して涙が出た」といった言葉は、音楽がもたらす心の癒しを物語っています。今年も、皆様に安らぎの時間をお届けします。

日 時：2025 年9月18 日
13 時～

場 所：当院1F ホール

出演者：歌手の岡田健志さんと久保このみさん



昨年の様子

診療科紹介 婦人科

当科では婦人科疾患全般、妊娠・分娩・産褥管理、子宮・乳がん検診を行っています。中でも乳がん早期診断への取り組みが最大の特色です。有資格医師による乳房超音波検査をマンモグラフィと併用し、高濃度乳房や40歳未満女性に対してもより確実な早期発見を目指しています。また妊娠関連乳がんの予後改善に向け、妊婦健診時の乳房超音波検査も実施しています。併せて。プレスト・アウェアネス" (乳房を日常的に意識する習慣) の普及により、入浴や着替えの際の乳房の変化を早期に察知するセルフチェック啓発にも力を入れています。

手術では帝王切開、円錐切除、子宮脱根治術に対応し、自然分娩と母乳育児を支えるチーム医療で安心・明るい診療を提供しています。



診療技術部 認定資格紹介

認定資格を取得するためには、特定の試験や研修を終了することが必須となります。日々進歩する医療に対応するため、研修や試験を重ね、資格を取得しています。

今回は、患者さんに質の高い、安心できる医療を提供するため、チームの一員として活躍する診療技術部が取得している認定資格の一部をご紹介します。

<認定資格>

認知症ケア専門士
アスレティックトレーナー
栄養サポートチーム専門療法士 (NST専門療法士)
静脈経腸栄養 (TNT-D) 管理栄養士
栄養経営士
肝炎医療コーディネータ
検診マンモグラフィ撮影技術認定
X線CT認定技師
磁気共鳴専門技師
第1種放射線取扱主任者

検査などについて、不安なことや不明な点がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

column

元法政大学総長で江戸文学研究者の田中優子氏が、7月に来福した。江戸の名編集者葛屋重三郎の功績を伝えるためである。1750年生まれ of 葛屋重は、時代の荒波を受けながら、それに立ち向かって生きた男だ。安定していた田沼意次の時代から松平定信へ変わると、葛屋を取り巻く環境が一変し逆風が吹き荒れた。しかし、葛屋は様々な方法で出版業界に成果を残したと、田中氏は強調する。後期高齢者の急増と少子化の波は神奈川沖波裏である。見ているだけでは流される。葛屋のように、波を読んだ当院の方法が始まった。

